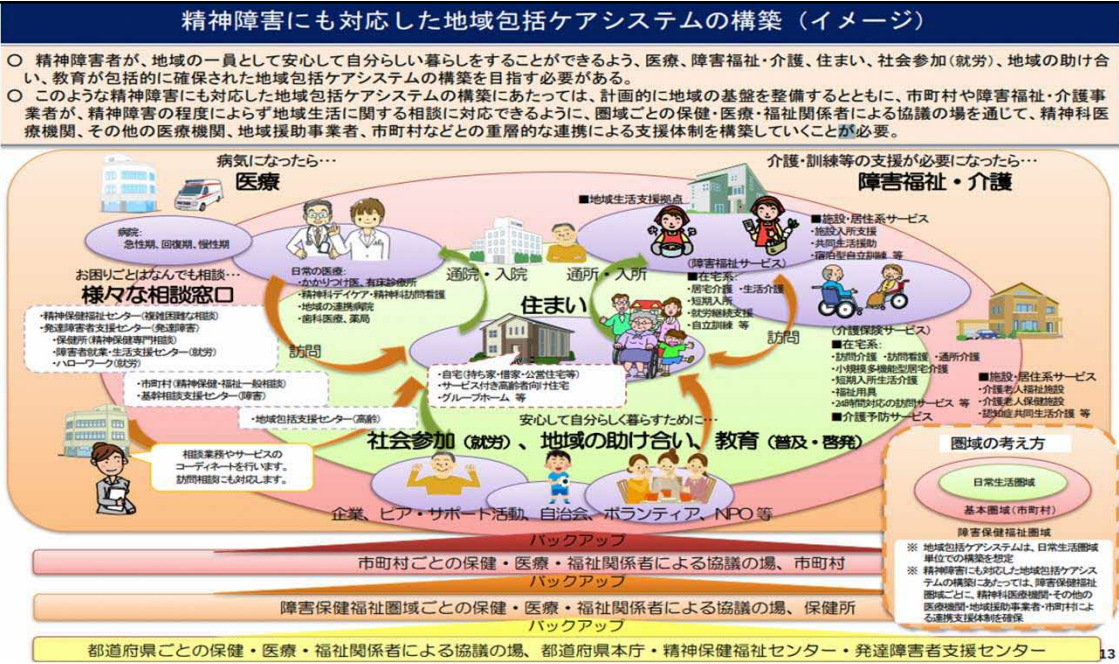


府中市精神障害にも対応した 地域包括ケアシステムについて



令和 6 年 7 月 2 9 日 (月)
府中市福祉保健部障害者福祉課

1



出典：厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部 精神・障害保健課

2

精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築の背景

精神保健医療および障害福祉サービス等のデータ

日本の人口推移	今後減少の予測 2025年以降は減少が加速
医療費の動向	H30年43兆 精神分野の割合6.1%（1兆9千）
精神疾患を有する総患者数の推移	400万人を超える（うち入院30万人）
精神疾患を有する外来患者数の推移	15年前に比べ1.7倍
精神疾患を有する入院患者数の推移	15年前に比べ9割に減少
精神病床における入院患者の在院期間	1年以上が6割、5年以上が3割強
退院後の行き先	短期は家庭、長期は転院が多い
退院の可能性や見通し	1年半以上の入院のうち3割は退院困難（居住・支援なし）
障害福祉サービス等の利用者数の推移	利用の3割が精神障害

参考：精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築のための手引き 日本能率協会総合研究所

3

精神保健医療福祉政策の動向

平成		
14年	社会保障審議会報告書「今後の精神医療保健福祉施策について」	
15年	精神保健福祉対策本部中間報告「精神保健福祉の改革に向けた今後の大対策の方向」	「普及啓発」「精神医療改革」「地域生活の支援」
16年	精神保健福祉対策本部報告「精神保健医療福祉の改革ビジョン」	入院医療中心から地域生活中心へ
18年	障害者自立支援法施行	
21年	今後の精神保健医療福祉のあり方等に関する検討会「精神保健医療福祉の更なる改革について」	
22年	厚生労働省障害保健福祉部「新たな地域精神保健医療体制の構築に向けた検討チーム	
25年	障害者総合支援法施行、精神保健福祉法改正	
26年	「良質かつ適切な精神障害者に対する医療の提供を確保するための指針」、長期入院精神障害者の地域移行に向けた具体的方策の今後の方向性の取りまとめ」	1年未満の退院と地域移行を目指す
29年	厚生労働省「これからの精神保健医療福祉のあり方に関する検討会報告書」	にも包括の理念

参考：精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築のための手引き 日本能率協会総合研究所

4

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムとは

精神障害の有無や程度にかかわらず、誰もが安心して自分らしい暮らしができるよう、医療・障害福祉・介護、住まい、社会参加（就労）、地域の助け合い、普及啓発（教育）が包括的に確保されたシステムのこと。

- ・精神障害はだれもがかかりうる病気...他人事ではない
- ・環境を整えば地域生活が送れる精神障害のある方
- ・入院が長期化している方、地域生活が安定しない方
- ・高齢・身体疾患など様々が課題を抱える方

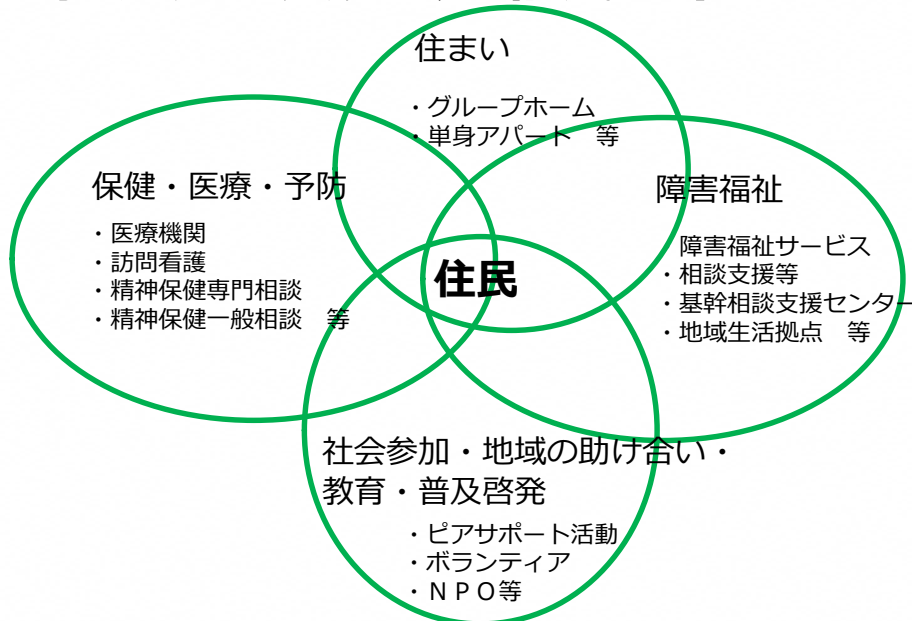


地域の課題として、「いかにして地域での生活をささえてけるか」を当事者・家族・多業種・事業所・行政機関などで考えていく
協議の場が必要



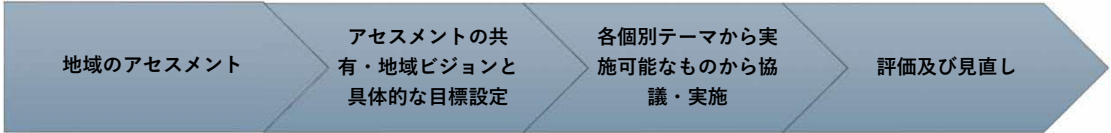
5

包括ケアシステムの構成要素



6

地域包括ケアシステム構築のプロセス



令和2年度から令和3年度にかけて、精神保健に関わる事業所や家族会等、様々な立場の方々にご参加いただき、地域の課題の抽出（地域アセスメント）を行った。

地域アセスメントを行い、課題を共有
実施可能なものから取り組んでいくための協議



令和4年度の会議

第1回 11月29日

- ・ 会議の目的
- ・ にも包括とは
- ・ 意見交換

令和3年度 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム 地域課題検討結果（概要）

理想の姿：障害のある人もない人も、お互いに尊重し合い、市民全てが安心して自立した暮らしができるまち・府中の実現

【地域移行】（長期入院患者の退院を目指す）

課題	困り・課題/まだ取り組めていないこと	実施していること	実施できる事/今後できそうな事
地域生活の参加・教育			
住まい	◆住まい探しの手続きが高い ◆グループホームへの入居条件に合わない人がいる	◆実際にやっている住まい探し ◆生活力のチェック	
社会参加（就労）	◆ピアサポート活動を活用したい		
保健・予防	◆地域が求める医療との連携の形		
医療機関・介護	◆地域が求める医療との連携の形 ◆協力を得られる事業所が少ない ◆作業所が合わない人の目先の過ごし方 ◆地域移行に従事できるスタッフが少ない ◆制度に関すること		
地域移行・退院支援	◆地域生活をしたいと思ってもらうための支援が見えない ◆医療チーム内での地域移行の認識に差がある ◆本人と支援者の方向性が異なる ◆約10年と長くつきあいが地域生活を送っている人もいる ◆お金のやりくりのアセスメントは難しい ◆退院の妨げになっているものは何かを考える	◆病院は退院に向けてミーティングや施設見学を行っている	◆それぞれの機関もっている情報を共有して、地域移行をすすめたい ◆地域と病院の相互交流

理想の姿：障害のある人もない人も、お互いに尊重し合い、市民全てが安心して自立した暮らしができるまち・府中の実現

【地域生活】（すでに地域で生活している人の生活）

課題	困り・課題/まだ取り組めていないこと	実施していること	実施できる事/今後できそうな事
地域生活の参加・教育	◆生活リズムの獲得 ◆精神疾患を身近に感じてもらう工夫 ◆精神障害があると当事者、家族がより孤立しやすい	◆訪問支援している作業所がある ◆孤立しないための支援	
住まい	◆アパート探しの壁（精神障害という偏見、保証人問題、トラブル） ◆住まいの選択が限られている ◆社会につながる人がいる	◆親類の不動産屋をつくる ◆他者とかわる機会をつくる	
社会参加（就労）	◆家族の負担が大きい ◆精神科に行きにくい ◆本人の理解が得られず、次の支援につながらない ◆他の病気に気がつきにくい		
保健・予防	◆医療の継続の難しさ ◆医療を含めたチーム作り ◆医療教育が必要	◆医療機関との情報共有 ◆必要時に地域の支援者が退院同行している	◆医療機関との情報共有
医療機関・介護	◆福祉のチーム連携強化 ◆障害特性の多様化により本人に合った施設が少ない ◆福祉分野の人材不足 ◆レスパイト先を増やしたい ◆支援が必要だけどサービスにつながらない人への見守りの仕組みづくり	◆支援者、支援機関とつながり続けるための仕組みづくり ◆地域生活の不安を聞く	◆連携する上で出来ることを柔軟に考える ◆障害者別にこだわらない連携
地域移行・退院支援	◆地域で生活し続けるために必要な支援と繋がりにくい		

検討前の地域アセスメントシート

令和4年度の会議

精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム 地域アセスメントシート（概要）

理想の姿：障害のある人もない人も、お互いに尊重し合い、市民全てが安心して自立した暮らしができるまち・府中の実現
【地域移行】（入院から地域生活へ）

項目	困り・課題/まだ取り組めていないこと	実施していること	実施できる事/今後できそうな事
地域の 現状 ・課題	◆コミュニティも含めた住環境の整備		
住まい	◆住まい探しの手配が難しい ◆グループホームへの入居条件に合わない人がいる ◆ピアサポート活動を活用したい	◆実際にやっている住まい探し ◆生活力のチェック	
生活支援 （支援）	◆地域が求める医療との連携の形		
保健 ・予防	◆地域が求める医療との連携の形	◆医療機関との情報共有	
医療	◆協力を得られる事業所が少ない ◆作業所が合わない人の中での過ごし方 ◆地域移行に従事できるスタッフが少ない ◆制度に関すること		◆障害種別にこだわらない連携
地域移行 ・ 定住支援	◆地域生活をしたいと思ってもらうための支援が足りない ◆支援チーム内での地域移行の認識に差がある ◆本人と支援者の方向性が異なる ◆現状とうまくつきあえないから地域生活を望んでいる人 もいる ◆お金のやりくりのアセスメントは難しい ◆退院の妨げになっているものは何かを考える	◆病院は退院に向けてミーティングや施設見学を行っている	◆それぞれの機関がもっている情報を共有して、地域移行をすすめる ◆地域と病院の相互交流

赤字でアイデアが追記されていく

第2回 2月2日

- ・各委員からの報告
- ・地域アセスメントシートの検討
- ・「教育・普及啓発」「住まい」「就労・社会参加

理想の姿：障害のある人もない人も、お互いに尊重し合い、市民全てが安心して自立した暮らしができるまち・府中の実現
【地域生活】（地域生活の定着のため）

項目	困り・課題/まだ取り組めていないこと	実施していること	実施できる事/今後できそうな事
地域の 現状 ・課題	◆生活リズムの理解 ◆精神疾患を身近に感じてもらう工夫 ◆精神障害があると当事者・家族が孤立しやすい ◆地域でのコミュニケーションづくり	◆協賛している事業所がある ◆孤立しないための支援	
教育	◆パート雇いの壁（精神障害という偏見、保証人問題、トラ ブル） ◆住まいの選択が限られている ◆住み慣れたままに住み続けることが難しい ◆社会に馴染めない人がいる ◆仕事が続かない ◆高齢化により通所が難しい ◆社会の受け入れが難しい	◆馴染みの不動産屋をつくる ◆グループホーム新設について	
住まい	◆社会に馴染めない人がいる ◆仕事が続かない ◆高齢化により通所が難しい ◆社会の受け入れが難しい	◆地産とつながる機会をつくる ◆高齢者の居宅訪問 ◆ピア活動の支援について	◆就労に関する連携の強化
生活支援 （支援）	◆家族の負担が大きい ◆地域へのアクセスの悪さ ◆通院に付き添い ◆本人の理解が得られず、次の支援につながらない ◆他の病気に併発しやすい ◆精神疾患の予防と早期発見		
保健 ・予防	◆医療の連携の難しさ ◆医療を求めたチーム作り ◆生活支援の必要性 ◆福祉のチーム連携強化 ◆障害特性の多様化により本人に合った施設が少ない ◆福祉分野の人員不足 ◆制度の理解 ◆人材育成 ◆相談員の専門相談 ◆レスパイト先を増やしたい ◆支援が必要だけど福祉サービスにつながらない人への見守 りが必要 ◆地域で生活し続けるために必要な支援と繋がりにくい ◆チームがいない	◆医療機関との情報共有 ◆必要時に地域の支援者が通院同行 している	◆医療機関との情報共有
医療	◆医療の連携の難しさ ◆医療を求めたチーム作り ◆生活支援の必要性 ◆福祉のチーム連携強化 ◆障害特性の多様化により本人に合った施設が少ない ◆福祉分野の人員不足 ◆制度の理解 ◆人材育成 ◆相談員の専門相談 ◆レスパイト先を増やしたい ◆支援が必要だけど福祉サービスにつながらない人への見守 りが必要 ◆地域で生活し続けるために必要な支援と繋がりにくい ◆チームがいない	◆医療機関との情報共有 ◆必要時に地域の支援者が通院同行 している	◆連携する上で出来ることを柔軟に 考える ◆障害種別にこだわらない連携
地域移行 ・ 定住支援	◆地域生活をしたいと思ってもらうための支援が足りない ◆支援チーム内での地域移行の認識に差がある ◆本人と支援者の方向性が異なる ◆現状とうまくつきあえないから地域生活を望んでいる人 もいる ◆お金のやりくりのアセスメントは難しい ◆退院の妨げになっているものは何かを考える	◆病院は退院に向けてミーティングや施設見学を行っている	◆それぞれの機関がもっている情報を共有して、地域移行をすすめる ◆地域と病院の相互交流

令和5年度の会議

第1回 令和5年7月3日

- ・アセスメントシートの検討
- テーマ：住まい
- 「できること・できそうなこと」
を中心に
- ・アイデアをマッチング

本日の検討内容について

- ・地域の様々な機関がつながることで、「できること」を増やし、「理想の姿」に近付ける仕組みづくりが「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム」です。
- ・「住まい」をテーマに、これまでの検討の中で見えてきた困り、まだ課題や取り組めていないことをもとに、「実施できること、今後できそうなこと」について話合ってください。
- ・「理想の姿」の達成に向けて、各検討の中で、「今やっている事」や「このグループの中で、この機関とこの機関が手を結ぶと、これができる」と意識して検討をお願いします。

【理想の姿】障害のある人もない人も、お互いに尊重し合い、市民全てが安心して自立した暮らしができるまち・府中の実現

【検討のテーマ】住まい

検討テーマ（構成要素）	困り・課題/まだ取り組めていないこと	実施していること	実施できる事/今後できそうな事
地域移行	・住まい探しの手配が難しい ・CHの居住条件に合わない人がいる	・生活力のチェック ・サブリースの検討	
住まい	・パート雇いの壁（精神障害という偏見、保証人問題、トラブル） ・住まいの選択が限られている ・住み慣れたままに住み続けることが難しい	・馴染みの不動産屋をつくる	・グループホーム新設について ・事例の積み重ね ・手引きの作成

テーマ：住まい「できること・できそうなこと」を中心に

精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム 地域アセスメントシート（概要）
理想の姿：障害のある人もない人も、お互いに尊重し合い、市民全てが安心して自立した暮らしができるまち・府中の実現

【地域移行】（入院から地域生活へ）			
構成要素	困り・課題/まだ取り組めていないこと	実施していること	実施できる事/今後できそうな事
住 まい	◆住まい探しのハードルが高い ◆グループホームへの入居条件に合わない人がいる ◆ 地域の支援体制を整える	◆実際にやっている住まい探し ◆生活力のチェック	◆ サブリースの検討
地域移行・ 退院促進	◆地域生活をしたいと思っもらうための支援の不足 ◆医療チーム内での地域移行の認識に差がある ◆本人と支援者の方向性が異なる ◆病状とうまくつきあひながら地域生活を送っている人もいる ◆お金のやりくりのアセスメントは難しい ◆退院の妨げになっているものは何かを考える ◆入院中からの連携 ◆ 病院と地域の患者像のギャップ	◆病院は退院に向けてミーティングや施設見学を行っている ◆一人暮らしに向けた生活評価 ◆利用できる支援の準備	◆それぞれの機関がもっている情報を共有して、地域移行をすすめたい ◆地域と病院の相互交流 ◆ 病院とグループホームの本人像のギャップを埋める機会を作る
【地域生活】（地域生活の定着のために）			
構成要素	困り・課題/まだ取り組めていないこと	実施していること	実施できる事/今後できそうな事
住 まい	◆アパート探しの壁（精神障害という偏見、保証人問題、トラブル） ◆住まいの選択肢が限られている ◆住み慣れたまちに住み続けることが難しい	◆馴染みの不動産屋をつくる	◆グループホーム新設について ◆事例の積み重ね ◆手引きの作成 ◆オーナーの相談先 ◆オーナーと不動産屋をつなげる ◆地域のオーナーの理解促進 ◆チェックリストで人物像を可視化 ◆ 支援体制からアプローチ ◆ どういう人かを地域が知る機会を作る
地域定着	◆地域で生活し続けるために必要な支援と繋がりにくい ◆キーパーソンがいない	◆地域を含めたチームづくり	

11

	アイデア	できそうなこと	関係機関
①	オーナーとつながる オーナーの相談先	サブリースの推進	住宅課 各母体 障害者福祉課
②	支援体制があること（何かあった時に連絡できる場所がある）。	サテライト型GHのような形態のGHが増えるといい。サブリースともつながる	各母体 住宅課
③	オーナー、地域の理解促進	普及啓発	精神保健福祉協議会
④	本人像の可視化 支援体制の可視化	チェックリストの作成	GH 相談支援事業所 住宅関係 医療機関 障害者福祉課
⑤	・病院と地域（GH）の持つ本人像のギャップを埋める ・地域移行のイメージのすり合わせ	研修、勉強会、情報共有	医療機関 GH 相談支援事業所 障害者福祉課

12

不動産事業者・家主向け

住宅確保要配慮者
対事例集

府中市居住支援協議会
(令和5年2月発行)

事例 3 家賃滞納をしている世帯

70代の母と40代の息子の2人世帯で、これまでトラブルはなかったが、半年ほど、家賃の支払いが遅れるようになった。
確認したところ、息子が体調不良により仕事を辞め、収入が減り困っていることがわかった。

心配なこと
今後も家賃滞納が発生するのではないかと

引きこもり状態に
なるのではないかと

府中市社会福祉協議会に相談。地域福祉コーディネーターが訪問し、状況を把握したところ、母親の滞り費用や、食費・光熱費等の支払いに追われ、家賃の滞り、息子の滞り費用などが用意できない状況だとわかり、市役所の生活福祉課(福祉総合相談窓口)に生活費の相談に行くことになった。

生活福祉課の申請に向けて、具体的に相談することになった。保護の支給決定がされるまでの間、地域のボランティアが行っている食糧支援を受けることになった。

生活保護を受けたことで、家賃の支払いができるようになった。また、息子が退院できるようになり、体調が回復した。

今後、体調を見ながら、市役所の生活福祉課にて、再就職に向けた支援を受ける予定。

できるようになったこと

- 生活費の滞り
- 家賃支払いができるようになった
- 過酷・体調管理
- 再就職に向けた相談
- 困ったときに本人が相談できる体制とつながった

府中市社会福祉協議会へはじめて相談したら良いかわからないという相談もできます。また、本人が相談窓口に行けるよう調整するなど、寄り添った支援も行っています。

市役所の生活福祉課(福祉総合相談窓口)は、生活費についての相談窓口です。生活費の滞り、家賃の滞り、生活保護の申請、就職相談などができます。また、必要に応じて、地域のボランティアが行っている食糧支援にもつながることができます。

福祉の相談窓口一覧

相談例など	相談先名称	連絡先(電話)
高齢の方への支援や制度等の問合せ	地域包括支援センター	地域別 11ヶ所 (8ページ参照)
	府中市福祉保健部 高齢者支援課	042-335-4496
障害のある方への支援や制度等の問合せ	府中市福祉保健部 障害者福祉課	042-335-4167
	地域生活支援センター プラザ 市精神障害者のみけ家	042-358-2288
	地域生活支援センター みへな	042-360-1312
	地域生活支援センター あけぼの	042-359-1085
	地域生活支援センター ふらっと	042-370-1781
子育てのこと、子どもについて の心配等	子育て世代包括支援センター 「みらい」	042-319-0072
生活保護のこと 収入・仕事が無くて生活費の 心配がある等	府中市福祉保健部 生活福祉課	042-335-4038
上記に当てはまらない、または どこに相談したら良いか迷う 場合	府中市社会福祉協議会 地域福祉コーディネーター担当	042-334-3040

※虐待が起きているなど緊急時は、迷わず警察(110番)へ通報してください
※子どもの虐待は、児童相談所虐待相談ダイヤル(189番)への相談も可能です
(通報すべきかなど判断に迷う場合)

どこかとどこかがつながり、できることから取り
組んでみることで、地域移行「退院のための支
援」と地域生活「安定した生活を支える」ための
地域のシステムの一つになっていく

↓

府中市精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築

終わりに

- 自分たちではやっていないけれど、別の事業所ではやっている
- こんな取り組みしたい、こんな取り組みなら手伝える
- 同業種で連絡会を作りたい、情報共有したい、事例検討会をしたい など
- 精神障害についてもっと知りたい、理解を深めたい
- 地域の人に精神障害のことを理解してもらいたい



身近なところから、一つずつ取り組んでみてください。

